

二重同時刺激（視覚）ログシート（DSS / Visual）

目的：単独検出は保たれるが同時提示で一側が消失する extinction（消去現象）を記録する

氏名/ID：	年齢： 歳	診断：
実施日： 年 月 日	評価者：	場所： ベッド / 椅子

プロトコル（条件を固定して再現性を確保）

注視点： 鼻尖 / 画面中央 / その他（ ） 姿勢： 正面座位（骨盤・体幹を正中に）

刺激物： 指先 / 点カード / タブレット / その他（ ） 提示位置： 左右 約 10-15°（距離も固定）

教示（統一）： 『どちらで見えましたか？ 左／右／両方 のいずれかで教えてください』

テンポ： 1 試行 2-3 秒 練習： 3-5 試行（練習はカウントしない） 視力補正： 眼鏡あり / なし

備考： 刺激の大きさ・明るさ・背景コントラストを一定に（利き手・立ち位置の偏りを避ける）

試行ログ（ランダム順で実施：単独 L / 単独 R / 同時 LR）

#	提示（L/R/LR）	回答（L/R/両方/無反応）	質的所見	メモ（注視逸脱・遅延など）
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
16				
17				
18				
19				
20				

※「質的所見」には、注視逸脱／反応遅延／左右取り違い／眠気・疲労などを簡潔に記録

二重同時刺激（視覚）ログシート（DSS / Visual）

目的：単独検出は保たれるが同時提示で一側が消失する extinction（消去現象）を記録する

集計（最小3点：単独検出率／同時消失率／質的所見）

単独検出率：L ____ / ____ R ____ / ____ （単独が低率の場合は視力・理解・覚醒を優先評価）

同時（LR）試行：左消失 ____ / ____ （右のみ回答） 右消失 ____ / ____ （左のみ回答） 無反応 ____ / ____

注視逸脱：なし / あり（頻度：低・中・高） 反応遅延：なし / あり（頻度：低・中・高）

所見まとめ： _____

他検査との整合：抹消 / 線分二等分 / 時計描画 / ADL 観察 と（整合する・しない・一部のみ）

品質管理チェック（再現性が落ちる「落とし穴」を先に潰す）

- ☐ 注視点の固定を事前にリハーサルした（はい／いいえ）
- ☐ 左右の提示条件（大きさ・明るさ・距離・背景）が等しい（はい／いいえ）
- ☐ テンポを一定に保った（メトロノーム/心のカウント）（はい／いいえ）
- ☐ 評価者の立ち位置・利き手で偏りが出ないように配慮した（はい／いいえ）
- ☐ 覚醒レベル/疲労の変化があればメモに残した（はい／いいえ）

ランダム順（例）※施設で固定して使う場合のメモ欄

10 試行の例：1 L / 2 LR / 3 R / 4 LR / 5 L / 6 R / 7 LR / 8 L / 9 R / 10 LR

自施設の標準：試行数 ____ （単独 L ____ 回・単独 R ____ 回・同時 LR ____ 回） 回数は毎回同じにする

備考： _____
